

令和元年度 第1回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和元年5月29日（水）
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ1F FMはまなす会議室
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・永沼 興子
 - ・小川 有積
 - ・北口 博美
局側出席者
 - ・阿部 啓吉（社長）
 - ・真壁 和雄（課長）
 - ・松井 宙夢（スタッフ）
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」「その他の番組」についての審議
5. 議事の概要（放送期間5/14～5/21）
 - (1) 局制作番組
「そこが知りたあ〜い！」
 - (2) 市民制作番組
「ステージの合間に」
 - (3) 他局制作番組について
火曜ラジオドラマ「あゆみさん」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「そこが知りたあ〜い!!」

知っているようで知らない事、または様々な分野からテーマを設け、色々な情報をゲストを交えながら紹介している番組。金なまナイト倶楽部、週末ラジオ等のゲストコーナーを編集してお送りしている。

① 事前意見回答報告

岡委員長

5月14日(火)の放送について

「交響詩岩見沢の会が作られた経緯。指揮者相沢清氏。加藤愛夫さんの詩に川越守氏が作曲。岩見沢の賛歌。昭和48年9月完成。私としては語られる人物や経緯に知識があったので関心を持って聴くことが出来た。番組で取り上げられる内容で、聴取者を引きつけるものがあると考えました。」

5月15日(水)の放送について

「こぶし建設株式会社。施工管理の永井さん、栗山さん。振興局発注の道路工事、河川工事、農業工事の話。市民が何を知りたいか？何を引き出すか？PRか？」

5月16日(木)の放送について

「混声合唱団の演奏会の一部を紹介。いい日旅立ち他。」

永沼委員

5月15日(火)の放送について

「ハッピー体操が4パターンあるという事。」

5月16日(木)の放送について

「米マイスター、地域包括支援センターなどの話でしたが、知らなかった事が良く分かり良い番組だと思いましたが、混声合唱団は「そこが知りたい」に入るのかと思った。」

仁志委員

5月15日(水)の放送について

「赤間板金の社長の話を聞いて専門家のコメントは深いなど感心しました。屋根のメンテナンスの時期に関して約10年をめぐりには同感ですし、使用している素材の名称にまで及ぶコメントで説得力がありました。黄砂の影響、腐食の原理(赤錆、青錆)屋根の雪下ろしの基本的な姿勢など、示唆に富んだコメント。今後も同番組でプロのコメントを聞きたいと感じました。」

小川委員

5月15日(水)の放送について

「岩見沢市内のこぶし建設より2名のゲストが自社の業務内容や職場環境などについて、パーソナリティーと対談する内容。普段聴けない話やその会社について知らなかったことを知ることが出来る番組です。まさに「そこが知りたかった」番組です。これからも色々な会社情報を楽しみにしています。」

北口委員

5月14日の放送について

「岩見沢市岡山に工場があるクリエートメディックという会社について紹介されていました。主にカテーテルなどの医療器具を製造販売している会社のようなのですが、岩見沢にある様々な企業を紹介するのは若い方への雇用や関心にも繋がると思いますので良いことだと思います。」

5月16日の放送について

「岩見沢混声合唱団の美しい合唱が朝から心地良く聴けました。ただ合唱団について設立の経緯やどの様なメンバーなのか等を紹介して欲しかったと思います。」

畑委員

5月16日(木)の放送について

「上志文にある就労継続支援B事業所ふじききょう園の菊地理事長が出演され、大きくて肉厚のシイタケ栽培を安心安全を大前提とし、無農薬、無添加で栽培している様子が良く伝わる内容でした。2018年で13年目になりましたとの事。」

実は10数年前最初は北村にと考えていたのでないかと思うのですが、一度ですがお会いして施設を作りシイタケ栽培を考えているという話を伺ったことがありました。その後、詳しいいきさつは分かりませんが、上志文に落ち着いたのですね。そんな事を思い出しながら聴いていました。シイタケ作りにまつわるご苦勞もお聞きし、1つの事業を成し得たことは本当に素晴らしいです。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。番組タイトルでこの番組は何をやるのかと考えますよね。」

永沼委員

「混声合唱団は歌だけでしたよね。」

スタッフ松井

「今回コンサートのCDを頂き、当社でも後援名義を貸している事から紹介したいという思いでこの番組枠で放送しました。」

北口委員

「何曲か選んで放送していたので、番組の中に紹介があったら良かったと思います。」

岡委員長

「会社の紹介を行っているが何を引き出そうとしているのか、会社のPRをする場なのでしょうか。」

北口委員

「勝田さんの放送の時は、良い話をしているのですが女性二人の区別がつかなかった。」

岡委員長

「聴くと「知らなかった」ことが分かる番組だと思います。」

小川委員

「長く放送している番組ですよね。そこが知りたいというテーマ自体がどうにでもとれるテーマで、局側も試行錯誤して放送しているので、良いものは良いし、これはどうなんだろうというのは次回の課題にすると良いことなので、色々やっている事は良いと思います。ゲストを招く事によりラジオを聞いてくれるきっかけになりますし、色々な方を取り込んでいくのは良いことだと思います。」

木村委員

「ゲストの選定は工夫しているのですか。」

スタッフ松井

「話題に上った企業や団体や個人、スポンサーやイベント、社会で話題になっている事で岩見沢ではどうなのかという点でも選択しています。」

仁志委員

「面白い番組だと思います。会社の魅力を引き出す努力とゲストの為になるように色々な事をやってみるのは良いと思います。」

岡委員長

「岩見沢の魅力や地元の企業などの魅力を発信出来れば良いと思います。では次に進みます。」

(2) 市民制作番組について

「ステージの合間に」

岩見沢の文化情報等をお送りしている番組。文化活動を行っている方をゲストに迎える等、市民に広く文化情報を知って頂くことを趣旨として放送を行っている。

① 事前意見回答報告

木村委員

5月18日（土）放送について

「夕張で歌手活動をしている女性をゲストに、その活動について楽しく聴くことが出来ました。MCの吉田さんの、曲などの好みの話しの部分をもう少し控え目にした方が、ゲストの魅力が引き立ったと感じる部分があったのが残念でした。」

仁志委員

5月18日（土）の放送について

「吉田多佳子さんと札幌在住のミキサーの宮原ゆうすけさんの番組を聴きました。今回はゲストに夕張出身の堀田雅子さんのコンサートの宣伝を含め、スタジオで生歌声を聴けました。アカペラながら素晴らしい歌声に驚きましたし、全国各地でのステージと共演者のアーティストとの出会い等「もう少し、もう少し」ゲストのお話を聞きたいと思いました。」

② 審議

木村委員

「開局当時からのパーソナリティーです。ゲストがいる時と居ない時がありますが、司会者とゲストのしゃべりのバランスが。ゲストの話をもっと聞きたいと思ってもパーソナリティーの話が多くなるので構成を考えた方が良いと思います。」

仁志委員

「2曲の内1曲を生歌にしたのが良かった。」

木村委員

「コンサートの情報を繰り返し言って欲しい。司会のバランスをうまくやっていたら聴取者も喜ぶのではないのでしょうか。」

岡委員長

「リードする方によって内容が変わってくるので大事な事だと思う。ゲストが生きるような形で放送して貰えれば良いと思います。では次に進みます。」

(3) 他局制作番組について

火曜ラジオドラマ「あゆみさん」

子育てに仕事に一生懸命な主人公「あゆみ」とその家族が、日常で感じる小さな幸せやさまざまな困難を乗り越えていく姿を描くホームドラマ。毎週火曜日 午後2時45分頃からAIR-G'エフエム北海道で放送したものを翌週放送している。

① 事前意見回答報告

岡委員長

5月14日(火)の放送について

「連休明けに追い詰められた主婦から様子、状況。岩見沢市担当者相沢さんの住んで欲しい子育て時代。あゆみのサポーターによる「えみふる」の紹介、評判等・3か月から6年、子供の預かり(預かる人、預ける人)料金発生等。ドラマとサポーターの繋がりあったと思い視聴しました。」

5月21日(火)の放送について

「子供に手がかかる、一人の時間が欲しい、仕事山積み、ストレスからの夫婦喧嘩状況から、サポーター相沢さんの登場。ざわトークの紹介。旅、キャンプ、ビール好きの集まり、ストレス解消との関わり？」

木村委員

5月14日(火)の放送について

「岩見沢に引っ越ししてきた家族の物語。子育ての苦勞の夫と妻のとらえ方、状況の違いがドラマでは描かれ、それをサポートする岩見沢市の施策が紹介される構成で、新しい子育てサポートの取り組みを知ることが出来勉強になりました。」

仁志委員

5月14日(火)の放送について

「岩見沢中心街の施設、遊びの広場「えみふる」の好評な活動の紹介番組でした。日本計画行政学会計画賞「最

優秀賞」受賞の「原点」が分かりました。子育て支援施設、移住希望者への対応を含めて準備された豊富なメニュー。支援に対して「フレキシブルな時間対応」など相談したい中心的な「ファミリーサポート」の活動。必要な処に対する手当などに感心致しました。岩見沢市外の方を含めた利用者数が7万人以上で準備されている理由が分かりました。来場される方への施設外への誘いと、満足度を上げる「プラスアルファの仕掛け」を受け入れる立場の商店街は早急に手を打つべきだと思いました。」

小川委員

5月15日（火）の放送について

「5月7日 Air-G で放送されたものの再放送と言う事でしたが、単発で聴いても内容が理解できない。物語の背景が岩見沢の子育て環境にあることは知っていたのですが、事前に情報無しで聴いたらどの様に感じていたかは分かりません。」

北口委員

5月14日（火）21日（火）の放送について

「前半はラジオドラマですが、後半は岩見沢市の情報を紹介していて、時間も丁度よく面白い企画だと思います。エフエム北海道制作と言う事で、移住希望者や子育て世代の岩見沢市外のリスナー想定した内容も多いようですが、市内の方にも是非聴いてもらいたい番組だと思いますので、はまなすでも放送されているのはとてもいいと思います。」

② 審議

岡委員長

「岩見沢市の取り組み内容が分かったと思います。21日の放送はドラマと「ざわトーク」の繋がりはあるのでしょうか。」

スタッフ松井

「ドラマとコーナーに分かれているので、ドラマと繋がらない時も有ります。」

仁志委員

「市の担当者は早口で、もっとゆっくり話してくれたら分かり易いと思います。」

北口委員

「編集でカットされる所が多いので、早口に聞こえるようになるのではないのでしょうか。」

仁志委員

「道外から移住する人も増えているので、この取り組みで移住がうまくいくと良いと思います。」

岡委員長

「番組を通して岩見沢が盛り上がるようにして貰いたいと思います。他に意見がなければこれで終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

1) 局制作番組

「週末らじお」については、

スタッフに番組構成の再確認と引き続き学生へ指導を行っていくことを指導した。

2) 市民制作番組

「ザワちゃんねる」については

リスナーを意識した放送と引き続き市民の活動を伝える番組作りをお願いした。

3) 他局制作番組

東日本大震災特別番組

「ラジオから伝えたい想い～東日本大震災から8年」については、今回で終了しましたがこのような番組があれば今後も放送していきたい。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和元年6月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。